

2025年6月22日主日礼拝説教要約  
わたしは世に勝ちました

(ヨハネ16・29～33)

## 一、「世」について

16章33節に「世」ということが2回出てきます。世とは何なのでしょう。新約聖書で使われている「世」(コスモス)には、秩序があつて整然としている世界、という意味があります。そうであるなら、創世記1章1節の「はじめに神が天と地を創造された」、及び1章31節の「神は自分が造つたすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。夕があり、朝があつた。」という世界を指していると受け取ることができます。

世界は良いものとして造られました。しかし私たちが住んでいる世界には「悪」があるのも事実です。すなわち神の御心から逸れた状況、さらに誰が考えても甚だよろしくない「悪」があります。なぜでしょうか。聖書は語ります。人の罪のゆえである。そういうわけで「世」は、元々は良いものであったのに、人の罪によって問題を抱えてしまったことを、神の啓示の書である聖書から知ります。

## 二、「世」をどう受け止めるか

では、神が造られた世界であり、人の罪によって本来のあるべき姿を失って

しまった「世」を、どのように受け止めたら良いでしょうか。聖書に耳を傾けてまいります。そうしますと「世」は、

神の愛の対象であることが分かります。

ヨハネの福音書3章16節です。〈神は、

実に、そのひとり子をお与えになった

ほどに世を愛された。それは御子を信

じる者が、一人として滅びることなく、

永遠のいのちを持つためである。〉と。

もっともこの場合の〈世〉は、世にいる

人々、すなわち私共人間を指していま

す。人は、どんなに神から離れていても、

神から愛されていることを知ります。

〈世を愛された〉と語られているから

です。その意味は、神が世的なものを愛

しておられるということではありません。

ヨハネの手紙第一2章15節にあり

ます。〈あなたは世も世にあるものも、

愛してはいけません。もしだれかが世

を愛しているなら、その人のうちに御

父の愛はありません。〉と。「世」は、神

不在の世界観であり、創造主を認めな

い世界観です。この世界観こそは、昔か

ら今日に至るまで、日本社会に浸透し

ている世界観です。欧米の世界観は、意

識されていようがいまいが、ギリシア

哲学とローマ帝国時代のキリスト教文

化が根底にあります。したがって、

文化の中にキリスト教が溶け込んでい

ますから、人々がキリスト教を退ける

ようになる、倫理道徳観も崩れてま

いります。ところが日本文化は、キリス

ト教がなくとも、それなりにしっかりと

とした道徳観を持っています。

この、神不在の世界観が「この世」で

す。日本国に立派な人はごまんといま

すが、神不在の世界観で生きています

ので、私たちから見ると「ペタンコ

な世界」「二次元の世界」に生きている

ように映ってしまいます。そういう神

不在の日本社会の中に、すなわち日本

国というこの世で生きている私共信仰

者は、聖霊なる神の働きに浸されてい

ないと、どんな力を吸い取られて行

きます。そこで、16章33節後半を見て

いただきます。〈世にあっては苦難

があります。しかし、勇気を出しなさい。

わたしはすでに世に勝ちました。〉と。

主イエス・キリストを信じる者は、神不

在の世界観の中でも、勝つことができます。

私共は、日本国という神不在の世

界観の中で生きています。そのような

日本国の文化と、必要な戦いはしな

いほうが良いですが、必要な戦いはし

なければなりません。

## 三、わたしは世に勝ちました

ではどのような時に、悪魔という、この世を支配する勢力と戦うのでしょうか。それは、ある人、ある組織、ある地域、ある国家を取り巻いている、あるいは浸透している状況が、明らかに「創造主に敵対している」、あるいは「キリストによって現された愛に敵対している」

と考えられる場合です。この戦いは、神からの超自然的な助けがなければできません。特に、一個人よりも一組織、一

組織よりも一地域、一地域よりも一国家

のほうがむずかしいことは、言うまでも

ありません。エペソ書が語っている

ではありませんか。〈私たちの格闘は

血肉に対するものではなく、支配、力、

この暗闇の世界の支配者たち、また天上

にいるもろもろの悪霊に対するもので

す。〉(6・12)と。ふだんの生活では、

なるべく隣人と争わないほうが良いで

す。意見が異なっても、平和を保つこと

が必要です。ですが、心の中ではこの世

に立ち向かう、すなわち悪魔に立ち向

かう必要があります。主は、おっしゃっ

ています。〈世にあっては苦難がありま

す。しかし、勇気を出しなさい。わたし

はすでに世に勝ちました。〉と。主イエ

ス・キリストは世に勝たれました。すな

わち、神不在の価値観であるこの世に

勝たれました。また悪魔が支配するこ

の世に勝たれました。しかも、〈勝ちま

した〉の元のテキストは、完了形になっ

ています。そこで〈すでに世に勝ちまし

た〉という訳になっています。さらに

〈勝つ〉は、時間を超えて完了している

ことばなので、口語訳、新共同訳、聖書

協会共同訳は、「わたしはすでに世に勝

っている」と訳出しています。

イエスさまにお従いして行けば、私

共もこの世にすでに勝っています。